

人斬り与太 狂犬三兄弟 (1972)

メディア 映画

ジャンル 任侠・ヤクザ アクション

製作国 日本

色彩 Color

時間 86分

初公開日 1972/10/25

公開情報 東映

【解説】

深作欣二監督と菅原文太主演による人気シリーズ「現代やくざ」の最終作。ただし本作は前作「現代やくざ 人斬り与太」の続編であり、「現代やくざ」シリーズとしては番外編とされている。脚本は松田寛夫と神波史男が担当。

北闘会の会長を刺殺した権藤は、六年間服役した後に出所。村井組の金バッジになれると思い込んでいた権藤だったが、街では北闘会と村井組が手打ちしたことを聞かされる。強引な方法でバーの共同経営者に収まった権藤と大野は売春を始め、店は大繁盛となるが、北闘会に目をつけられてしまう。また村井組も権藤の存在が邪魔になり始めていた。権藤は店をたたみ北闘会の縄張りを荒らすが、店の用心棒だった谷が北闘会に殺された。また大野も立ち寄った実家で、実の母親に殺されてしまう。

【クレジット】

監督 深作欣二 Kinji Fukasaku

企画 俊藤浩滋

吉田達

脚本 松田寛夫

神波史男

撮影 仲沢半次郎

美術 北川弘

編集 田中修

音楽 津島利章

出演 菅原文太

田中邦衛

渚まゆみ

渡辺文雄

三谷昇

三原葉子